

令和3年度事業報告

令和3年度は本協会として創立から53年目を迎える年となり、共同事業体としての狛江市体育施設運営管理事業も、3期目5年契約の3年目の年となりました。

今年度も世界各地で新型コロナウイルス感染の被害が見られ、当協会といたしましても感染拡大を防ぐ責任を共有し、各加盟団体及び共同事業体協力のもと新型コロナウイルス感染対策に臨む年となりました。当協会としては多くの大会及びイベントを中止する事となりましたが、これまでの実績、経験を生かし、市民から愛され慕われる共同事業体としてできる限りの管理運営を行いました。

令和3年度の活動と致しましては、都民生涯スポーツ大会にバドミントンと水泳合わせて19名の選手が出場し、水泳（年代別）で男子100m自由形1位、女子100m自由形2位、女子50m背泳ぎ2位、男子50m背泳ぎ2位、男子100m背泳ぎ3位と好成績を収めました。

市民大会及びスポ・レク大会は市の委託事業として今年度は4種目の大会、4種目のスポ・レク事業を実施し、総参加者は2,265名に達しました。

東京都体育協会からの委託事業である、令和3年度ジュニア育成地域推進事業・シニアスポーツ振興事業においてはビーチボール・バレーボールの各団体がジュニア育成地域推進事業を実施し、ダンススポーツがシニアスポーツ振興事業を行う事により、スポーツの育成と普及に努めました。

11月14日に第45回市民まつりが開催時間を短縮して実施され、当協会としては「スポーツ広場」として市民グラウンドにて感染防止対策を十分に行った上でストラックアウト、ターゲット・バードゴルフ、サッカー、ボッチャ、ノルディックウォーキング講習会を催し、子供から大人まで幅広い参加者で賑いました。

令和3年度のパラスポーツ普及促進事業として、10月2日にボッチャ教室、12月18日にパラリンピック競泳選手で金メダリストの成田真由美さんによる講習会を実施し、合わせて68名が参加しました。

終わりに今年度はコロナ禍におきましても当協会にご指導頂きました狛江市行政当局、市議会議員、当協会顧問の皆様にご感謝申し上げます。また、財政的支援でお世話になっております賛助会会員の皆様にご厚くお礼申し上げます。